

# 大鹿村中央構造線博物館たより 92号



2017年1月発行

TEL/FAX:(0265)39-2205 E-MAIL:mtl-muse@osk.janis.or.jp

あけましておめでとうございます。

今年もどうぞよろしく願いたします。

## 西方見聞録「世界はこんなふうだった」インドシナ編

大鹿村 塩河在住の伊東一郎さんによるスライド上映会

1月 8日(日) 第1話 ベトナム【終了しました】

1月22日(日) 第2話 カンボジア

1月29日(日) 第3話 ラオス, 第4話 タイ

2月 5日(日) 第5話 ミャンマー

時間：午後2時～4時 場所：大鹿村中央構造線博物館 学習室 入場無料・申込不要

主催：大鹿村中央構造線博物館 (TEL. 0265-39-2205)

## 西方見聞録「世界はこんなふうだった」 インドシナ編スタート！

伊東さんによるスライド上映会、昨年のネパール編が好評につき、今年は第二弾としてインドシナ編がはじまりました。2017年1月8日の第1話では、ベトナムの写真を伊東さんの解説付きで楽しみました。次回以降も乞うご期待ください！（宮崎）

# 大鹿小学校授業「地層のでき方」

2016年12月9日、冷たい風が吹き付ける中、大鹿小学校6年生の理科授業「地層のでき方」が行われました。室内実験(写真1)では、小石、砂、泥などが混ざったケースを良く振ってから机において、粒の大きなものから積もっていく様子を観察しました。次に室外実験(写真2,3)で、上方から何度か<sup>じゃり</sup>砂利を含んだ泥水を流して透明ケースの中に堆積させていき、地層が積み重なる様子を観察しました。さらに、実際の地層の様子を見てみようということで、小学校建設時の地質調査用ボーリングコア(写真4)と、博物館横の水道ポンプ用井戸を<sup>くっさく</sup>掘削した時のボーリングの<sup>くず</sup>屑を観察し、地下22メートルまで河原の堆積物で埋まっていること確かめました。最後に<sup>うまのじょう</sup>右馬 允の崖に露出している昔の河原の礫を見て、<sup>うまのじょう</sup>右馬 允が建っている平らな面は昔の河原だったことがわかりました。河床の高さは長い間で50mくらいも上下するものだと実感しました。(宮崎)



写真1 上ほど細粒のものが堆積しています。



写真2 水を流して地層を作る実験



写真3 透明ケースの中に河原のミニチュア版完成



写真4 小学校のボーリングコア観察